

## 巻 頭 言

この度、例年通り高知工科大学紀要 (Volume 9, No. 1, 2012) を発行することになりました。本紀要は、一連の成果について纏めて論説した「招待論文」と2011年度の成果に関する「投稿論文」からなっており、これらの論文を1) テクノロジー、2) 特集「高知工科大学の教育」、3) 活動報告、4) 国際交流の4つに分類して掲載しています。

高知工科大学の教育職員は、教育者として優れた基礎的教育と研究実践に裏打ちされた発展的教育を行い、科学者として大いに研究成果を挙げ、さらには、それらの成果をもって地域社会・国際社会に貢献することを使命としています。高知工科大学は、事務職員の強力な支援を受け、これらの成果を統合・深化させて「日本にない大学」の実現に邁進しています。高知工科大学では、教育職員がもたらす教育、研究、地域・国際連携などの成果は、主体的に関わっている者のみのものではなく、本学、高知県、日本、さらには世界の共有財と考えています。また、学生諸君は自分が行った研究の成果が一部であっても公表されることに大きな喜びを感じているとも考えています。そこで、得られたあらゆる成果を共有化するため、公表しなければならないと考えています。教育、研究、地域・国際連携などの成果を共有化する手段としましては学術誌での公表が一般的ではありますが、学術誌への投稿が馴染まないと考えられる成果も少なくありません。本紀要は、そのような成果をも含め、本学で得られた全ての成果について、自由な立場から公表できる場となっています。ご高覧頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本紀要発行の主旨をご理解の上ご執筆頂いた教育職員の皆様に感謝申し上げますと共に、本紀要発行にご尽力頂いた紀要委員会の長崎政浩委員長はじめ委員の方々に感謝申し上げます。

副学長 西郷和彦